

保健医療学研究科履修要項

I. 修業年限

博士前期課程の標準修業年限は2年、博士後期課程の標準修業年限は3年とする。ただし、大学院学則第15条(在学期間の短縮)に該当する場合は除く。

II. 修了要件

在学期間中に、修了要件単位（博士前期課程30単位以上、博士後期課程18単位以上）を修得し、かつ、論文を提出し、その審査及び最終試験に合格した者を修了とする。なお、標準修業年限終了までに所定の単位を修得できなかった者、学位を取得できなかった者は修了延期とする。

III. 修了要件単位

【博士前期課程 論文コース】 合計30単位以上

- ① 「共通科目Ⅰ」を4単位履修する。
- ② 「専門科目」のうち、自身の領域の特別研究(論文指導)を8単位履修する。
- ③ 残り18単位以上を「共通科目Ⅱ」「専門科目」の中から選択して履修する。

【博士前期課程 専門コース】

詳細は指導教員へご確認ください。

【博士後期課程】 合計18単位以上

- ① 「共通科目」のうち、必修科目を6単位履修する。
- ② 「専門科目」のうち、自身の領域の特別研究(論文指導)を6単位履修する。
- ③ 残り6単位以上を「共通科目」「専門科目」の中から選択して履修する。

※履修登録用紙に記載されている配当年次以外の学年でも履修が可能である。学位申請までに修了要件単位が修得できるように、計画的に受講すること。

IV. 研究計画発表会について

研究計画および進捗状況の確認のため、入学翌年に研究計画発表会を行う。春季入学は5月、秋季入学は10月に開催する。詳細は追ってメールで連絡する。

V. 修士論文・学位論文の提出

修士論文・学位論文は以下の条件を全て満たした者が申請できる。

- ① 修了要件単位（30単位以上または18単位以上）を修得した者
- ② 研究倫理教育 APRIN（eラーニング）の所定の単元を全て修了した者

学位の申請にあたっては、ホームページの学位申請要項をよく確認し、学位申請手続用紙に必要事項を記入し、必要書類をそろえて長津田校舎事務課に提出すること。なお、学位申請書類はホームページから各自ダウンロードすること。

学位申請時期は、春季修了は1月、秋季修了は7月。詳細は、追ってメールで連絡する。

〈学位申請について〉

https://www.showa-u.ac.jp/education/grad_nr/degree.html

VI. 研究倫理教育 APRIN(eラーニング)受講について

研究倫理の基礎を学ぶため、1年次に研究倫理教育 APRIN（eラーニング）を受講すること。

受講項目は「01 責任ある研究行為：基盤版」の①責任ある研究行為について、②研究における不正行為、③データの扱い、④オーサiership、⑤盗用、⑥公的研究資金の取扱い、⑦共同研究のルールの7単位とする。全て修了した後、受講修了証を印刷し、事務課へ提出すること。

VII. 必修科目の履修について

- ・必修科目（後期課程：保健医療学研究方法特論（2）を除く）は、集中講義として開講する。

【集中講義】博士前期課程

日付		1 限 9:00~10:30	2 限 10:40~12:10	3 限 13:00~14:30	4 限 14:40~16:10	
5 月 10 日	水			研究計画発表会 ※保健医療学特論の1コマ分		
6 月 22 日	木				保健医療学特論 (副島 賢和) ※対面にて講義 (状況により zoom にて講義)	
7 月 8 日	土		保健医療学特論 (関屋 昇)	学士会例会（横浜キャンパス） ※保健医療学特論の2コマ分として必須		
10 月 11 日	水			研究計画発表会 ※保健医療学特論の1コマ分	保健医療学特論 (島居 美幸) ※14:30~16:00	
1 月 12 日	金			学士会例会（横浜キャンパス） ※保健医療学研究方法特論の2コマ分として必須		

※研究計画発表会は、5月10日（水）または10月11日（水）のどちらか1日出席すること。

【集中講義】博士後期課程

日付		1 限 9:00~10:30	2 限 10:40~12:10	3 限 13:00~14:30	4 限 14:40~16:10	
5 月 10 日	水			研究計画発表会 ※参加は任意		
7 月 8 日	土			学士会例会（横浜キャンパス） ※保健医療学研究方法特論の 2 コマ分として必須		
10 月 5 日	木					保健医療学 研究方法特論（1） （関屋 昇） ※18：00～21：00
10 月 11 日	水			研究計画発表会 ※参加は任意		
11 月 11 日	土	保健医療学教育方法特論（プレ FD）		※2 日間のうちどちらか 1 日に出席。4 研究科合同開催（予定）。		
11 月 12 日	日	保健医療学教育方法特論（プレ FD）		※2 日間のうちどちらか 1 日に出席。4 研究科合同開催（予定）。		
1 月 12 日	金			学士会例会（横浜キャンパス） ※保健医療学研究方法特論の 2 コマ分として必須		

- ・後期課程の保健医療学研究方法特論（2）については、本学博士前期課程で「医学生物における統計学的解析法」を履修している場合、受講を免除する。受講票の控えを事務課に提出すること。
※なお、他大学院で統計の授業を履修している場合についても、免除する場合があるので、事務課に相談すること。

VIII. 選択科目の履修について

- ・指導教員と相談して、科目を選択すること。
- ・原則として、各科目の演習を受講する場合、特論と演習をセットで選択すること。
演習のみの受講はできない。
- ・基本的に自身で科目担当教員と連絡を取り、授業日時を決めて受講していただきますが、まずはシラバスを確認し、その後連絡するようにすること。

※上記、「VII. 必修科目の履修について」の集中講義に関しては、教員への連絡は不要。

ただし、博士後期課程「保健医療学研究方法特論（1）」については、集中講義以外にも講義があるため、シラバスを確認の上、担当教員へ連絡し授業日程の調整を行うこと。

※前期課程「教育学特論」「臨床倫理特論」については、事務課から担当教員に連絡を取り、授業日時を調整いたします。

IX. 受講票及び授業アンケートの提出について

- ・受講票の提出方法については別紙「受講票の取り扱いについて」を確認すること。

X. 履修登録について

- ・流れ：院生が履修登録用紙提出⇒事務課が担当教員に履修希望一覧を送付⇒履修確定⇒事務課より院生に確定の旨を連絡（メール）⇒院生より各担当教員に直接連絡
※事務課より、履修確定の連絡（メール）が届いてから、各担当教員へ連絡すること。
※ポータルサイトにログイン後のシラバス閲覧で教員の連絡先が閲覧可能
- ・履修する授業科目については、履修登録用紙の紙媒体を事務課窓口又は郵送で提出すること。
（4月21日（金）締切）
- ・履修登録締め切り後に、履修登録科目の変更を希望する場合は、速やかに履修登録用紙を再提出すること。
- ・履修登録を実施していない場合は、単位として認められないので注意すること。

XI. 成績評価

- ・成績評価は下記の通りとする。
- 優 実験・実習・演習・論文作成過程において保健医療学研究科生としては極めて優れた成果を挙げている。
- 良 実験・実習・演習・論文作成過程において保健医療学研究科生として、優れた成果を挙げている。
- 可 実験・実習・演習・論文作成過程において保健医療学研究科生として最低限必要な知識があり、単位修得に値する。
- 不可 実験・実習・演習・論文作成過程において保健医療学研究科生として不十分であり、単位修得に値しない。

XII. 学位記授与

学位記授与は春季入学者に対しては3月、秋季入学者に対しては9月に行うこととする。

ただし、修了延期・早期修了はこの限りではない。

大学院保健医療学研究科 受講票の取り扱いについて

【担当教員】

- ・大学院生から提出された受講票の成績評価を記入、担当教員印を押印し、大学院生へ返却する。
- ・オンライン授業等で指導教員が成績評価の記入、担当教員印の押印が難しい場合は、担当教員から科目責任者へ成績評価、押印の代行を依頼し、許可を得た上でその旨を大学院生へ伝える。

【科目責任者】

- ・担当教員から依頼があった際、成績評価の記入、押印を代行する。
- ・大学院生から提出された受講票に総合成績評価、日付、氏名を記入、押印し大学院生へ返却する。
- ・オンライン授業等でその場での受け取りが難しい場合は対応方法を大学院生へ通知する。
(大学院生が来校するタイミングで受け取る、郵送など)

【大学院生】

- ・1コマ終了ごとに受講日、履修科目を記載する。
- ・担当教員へ受講票を提出し、成績評価の記入、担当教員印の押印を依頼する。
- ・オンライン授業等でその都度担当教員の成績評価の記入、担当教員印の押印が難しい場合は、担当教員の授業終了のタイミングで相談する。
- ・履修完了後、科目責任者へ受講票を提出する。
- ・科目責任者から返却された受講票は裏面のアンケートを記載し、学位申請時に事務課へ提出する。
- ・オンライン授業等の場合は、科目責任者へ受講票の受け渡し方法を相談する。
- ・集中講義については、受講日、履修項目等のみを記載し提出する。担当教員、科目責任者の印、成績は事務課にて管理するため、対応不要とする。

令和4年12月21日作成